

平成 24 年度 第 4 回経済学教育 FD/ICT 活用研究委員会 議事概要

- I. 日 時：平成 24 年 7 月 25 日(水) 14:00～16:30
II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室
III. 出席者：林委員長、中嶋委員、山田委員、児島委員、渡邊委員、碓井委員
(事務局) 井端事務局長、森下主幹、松本職員

IV. 議事概要

1. 検討事項 教育力を実現するためのFD活動と大学としての課題について

検討に先立ち、事務局から資料について説明があった。前回までにまとめた「教育改善モデル実現に求められる教育力」で掲げた教育力に対応するような形で検討することが確認され、ネット上で事前に提案された委員長、および委員の案をもとに、FD活動の現状について考察し、教育力の点検、評価、改善の方法について検討した。その中で、これまでのFD活動は効率的に行われていないとの指摘があり、新たなFD活動を提案する必要性が提言された。議論の結果、FD活動(5項目)としてまとめられ、同様に「大学としての課題」(4項目)についてもまとめることができた。

【3】教育力を実現するためのFD活動と大学としての課題

(1) FD活動

- ① 教育理念、教育目標に沿ったカリキュラムの全体像と当該授業の位置づけを継続的に検討する必要がある。
- ② シラバスや到達目標の評価指標を教員相互で主体的に点検・評価する仕組みを設ける必要がある。
- ③ 予習・復習を徹底し能動的な学修を促進するために、教育方法に関する研究報告会を積極化し、教員同士が教え合い、学び合うことが必要である。
- ④ グループ学習や対話型授業などの指導法の実践について、ワークショップを組織的に行う必要がある。
- ⑤ 国内外の専門家と学際的な意見交換を通じて、知識の統合・倫理観・グローバルな視点を学生に理解させるために、指導法の研究報告会を設ける必要がある。

(2) 大学としての課題

- ① オープンな授業参観や教育方法研究会などを制度化し、継続的に開催する必要がある。
- ② FD活動の基盤情報を充実するために、授業の録画、教材コンテンツ作成、ネットワーク上のディスカッションなど、大学として積極的に支援・推進する必要がある。
- ③ 学修ポートフォリオを活用した学修支援を実効あるものとするために、大学として組織的な取り組みと支援が必要である。
- ④ 大学が掲げる教育理念、教育目標を反映した教育方法や評価基準・方法の策定、社会における通用性などについて、学部教員の主体的な取り組みを支援・推進する必要がある。

2. 今後の検討スケジュール

以下の分担課題を8月20日(月)までにメーリングリストにアップロードされたい。

- ・学士力の背景(全体)について
分量：A4サイズ 2/3 くらい

- ・ 学士力の到達目標 1～5 の解説（到達目標設定の背景と解説含む）
分量：3～4行以内

次回の開催日程

日時：8月29日(水)14:00～16:00

場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

以上